



# 青少年交換派遣 高校生募集

世界のロータリーがサポートするのだから大丈夫。



高校生親善大使として留学してみませんか？

2013-2014年度 長期交換派遣候補生

2013年度 短期交換派遣生徒を募集しています



## 国際ロータリー第2790地区

2013-2014年度 ガバナー 関口 徳雄

2013-2014年度 ガバナー-エレクト 宇佐見 透

**ガバナー事務所**

〒271-0001 千葉県浦安市当代島 1-4-1-303  
TEL: 047-711-1545 FAX: 047-711-1546  
E-mail: 13-14gov@rid2790.jp

**お問い合わせ先**

新世代奉仕委員会 ロータリー青少年交換委員長 岡村美智子  
〒285-0862 千葉県佐倉市新臼井田 25-1  
携帯: 090-9679-9067 FAX: 043-487-8049  
E-mail: okmichy@kfd.biglobe.ne.jp  
E-mail: okmichy@aol.com  
(出来るだけメール連絡をお願いいたします)

## 1. 目的

貴クラブの親善大使として青少年を海外に派遣し、外国での生活を体験する事により国際理解と親善を推進すること。(語学研修が主目的ではありません。)

## 2. 派遣先及び募集人数

長期：国際ロータリーが認定した多地区 10名以内

(実績：米国・カナダ・ニュージーランド・オーストラリア・フランス・メキシコ・ブラジル他)

短期：国際ロータリーが認定した多地区 5～6名

(実績：米国)

\*注意：派遣先が希望どおりにならない場合があります。また、派遣生となってからの派遣辞退は、特別の事由がない限り認められません。

## 3. 派遣期間 (原則として)

長期：北半球 2014年8月出発～2015年8月帰国

南半球 2014年1月出発～2015年1月帰国の各1年間の予定

短期：派遣 2014年7月下旬～2014年8月下旬

受入 2014年6月下旬～2014年7月下旬

## 4. 費用

自己負担は、往復の渡航費、保険、定められた限度内での所持金、及び出発までのオリエンテーション等の費用です。

長期：滞在費(学費、生活費、お小遣い-\$70前後)は、ロータリーの奉仕の交換において賄われますので、必要ありません。

短期：滞在中の生活費は、受入ロータリー・クラブ及び受入家庭の奉仕の交換において賄われますので、必要ありません。

## 5. 応募資格

A. 本プログラムの趣旨を理解し従うことを前提とする生徒

(原則として出発時15歳～18歳未満の男女)(年齢制限)

**2013年9月1日**までに17.5歳の誕生日を迎えない者(派遣時、高校3年生以下である者)。

B. 保護者の承諾及び学校長の推薦を得られ、長期については出身高校長より来日生徒の受入について承諾を得られる者。

短期は相互交換となる生徒をホストすることが可能な者。(交換を目的としている為。)

C. 推薦ロータリー・クラブは派遣候補生及び来日生徒の引き受け(ホームステイなど)について責任を持つこと。

## 6. 申込方法

A. 生徒は、推薦ロータリー・クラブより志願書を受取り、必要事項を記入し学校長の署名を得て、推薦ロータリー・クラブへ提出すること。

B. 推薦ロータリー・クラブは、面接の上、クラブの親善大使として相応しいと認められた時、クラブ会長及び次期会長の署名を受けて、志願書を地区青少年交換委員会宛にご送付ください。

C. 願書締め切りは、**2013年9月30日(月)**、当日消印も有効とします。

## 7. 地区派遣候補生選考方法

① 書類選考、面接及び筆記試験。

② 合格者は派遣候補生として受入地区に推薦されます。

③ 受入地区の受入承認を得て正式に交換生徒として決定される事になります。

④ 地区選考試験は**2013年10月27日(日)**を予定しています。選考場所・集合時間については申込受付後、本人及びクラブへ連絡します。(場所は、千葉市民会館の予定。)

## 8. 派遣先での生活

長期：派遣先では1年間を通しその国のロータリアンがカウンセラーとして、生徒の生活に責任を持って指導監督し、宿泊は原則として3～4ヶ月毎にロータリアンの家庭か、ロータリー・クラブの責任を持つボランティアの家庭の世話になり、その家族の一員となって生活を共にして高校に通学します。

短期：相互交換となる家庭にホームステイし、その家庭の一員として生活を共にします。また、貴クラブでは、受入クラブとして援助して頂けますよう、お願い申し上げます。

## 9. 単位取得について (長期のみ)

高校生の留学が正式に認められ、1年間の休学をせずに3年間で高校を卒業することも可能になりました。(但し、これはあくまで各学校長の判断によるものであります。)